

# 2026年度 成城大学大学院 文学研究科Ⅱ期 入学試験問題

日本常民文化専攻 博士課程前期

## 《 文化人類学 》

(解答用紙は、大問Ⅰ、Ⅱ及びⅢそれぞれに一枚ずつ使用して下さい。)

I. 近年、環境問題や気候変動、自然災害は、地域社会の生業や価値観、知識体系、社会関係と深く関わる課題として、文化人類学においても重要な研究対象となっている。そこで、文化人類学の立場から、環境・気候変動または自然災害に関する研究を構想すると仮定し、以下の①～④について、具体的かつ論理的に記述しなさい。なお、研究対象とする地域・時代・事例は自由とする。

- ① 研究題目
- ② 研究目的
- ③ 研究方法
- ④ 予測される成果 (学術的意義)

II. 次の語句のうち2つを選んで、その意味を説明しなさい (選んだ語句の記号を解答の前に記すこと)。

- (1) 年齢階梯制 age grades system
- (2) 分離・移行・再統合 separation/transition/reaggregation
- (3) ディアスポラ diaspora
- (4) レトロツーリズム retro tourism
- (5) 半構造化インタビュー semi-structured interviews

\*以下の問題は、文化人類学を第1選択とする者のみ解答すること。\*

III. 次の人物のうち1人を選んで、主要な調査研究地や研究領域、著作(編著書を含む)、提唱した理論や方法論、その後の人類学研究におよぼした影響など、できるだけ詳細に説明しなさい (選んだ人物の番号を解答の前に記すこと)。

- (1) ジェームズ・フレイザー (James Frazer)
- (2) フランツ・ボアズ (Franz Boas)
- (3) エドモンド・リーチ (Edmund Leach)
- (4) 山口昌男